

令和5年第1回（1月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和5年1月26日（木曜日） 14時00分 開会

2 場 所 学校給食センター 2階会議室

3 出席委員 教 育 長 長 谷 川 裕 職務代理者 砂 川 功
委 員 竹 田 佳 枝 委 員 中 村 眞 也
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤 山 雅 之	教育総務課長	浅 川 縁
学校教育課長	長 友 義 彦	埴生幼稚園園長	桶 谷 美 和
学校給食センター所長	和 田 英 樹	社会教育課長	舩 林 康 則
中央図書館長兼厚狭図書館長	山 本 安 彦	歴史民俗資料館長	若 山 さやか
小学校長会会長	下 瀬 昌 巳	中学校長会会長	山 本 時 弘
書 記	野 原 嵩 恵		

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

① 報告第1号 令和4年度第2回社会教育委員会議の結果について (社会教育課)

(6) その他

① 県費負担教職員人事について (学校教育課)

② 市職員の人事について (教育総務課)

③ その他

(7) 閉 会

開 会

○長谷川教育長

それでは定刻になりましたので、1月の定例教育委員会会議を開かせていただきます。
本日は委員全員ご出席ですので、会議が成立していることをご報告させていただきます。

会議録署名委員の指名

○長谷川教育長

会議録署名委員の指名を行います。今回は砂川委員、中村委員よろしく願いいたします。

会議非公開の決定

○長谷川教育長

本日の議事日程の中の「6. その他」の「県費負担教職員人事について」及び「市費職員の人事異動について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められるため、非公開にしたいと思えます。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

全員賛成と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

○長谷川教育長

それでは報告事項に入ります。

それでは私から、年始にあたり、公務始め式で市長が述べられた内容の一部を報告させていただきます。詳しくは、1月1日付の市広報をご覧ください。本市では昨年4月から第二次総合計画中期基本計画がスタートしており「地域を創る」「ひとを創る」「まちの価値を創る」の3つを重点プロジェクトとして掲げ、様々な事業が展開されています。その中でも特に最重要施策である「地域運営組織(RMO)」の組成について地域の皆さんとともに取り組んでいきたいという強い決意が述べられました。そのためには、まず目的やゴールを共有することが大切で、多くの市民の皆さんにビジョンを共有してもらう必要があります。早速、明日には、各地区の自治会協議会、ふるさとづくり協議会、社会福祉協議会の会長にお集まりいただき説明会が開催されます。教育委員の皆様におかれましてもこのビジョンを共有していただきたいと思いい資料をお配りさせていただきました。是非、ご覧置きたいと思えます。

次に、1月8日に行われた山陽小野田市二十歳のつどいについての報告です。今年も新型コロナ

ウイルス感染症対策の一環として、不二輸送機ホールを会場２部制で実施いたしました。どちらの式も昔あったような荒れた成人式ではなく、落ち着いた雰囲気の中で秩序ある式が開催できたと思っております。来年は一堂に会しての二十歳のつどいが開催できればと思っております。

最後に、１月２１日に埴生青年の家の天文館で行われた「星の教室」の閉講式についてです。御存知のとおり、この天文館も古くなり、安全な施設といえないため、その役目を今年度で終了することとしました。ついては、長年開催されてきた「星の教室」も今年度が最後となりました。この間、教室の運営に御協力いただいた埴生青年の家プラネタリウムの会の皆さんに深く感謝するとともに、ここで学んだことを心に刻むことが天文館がここにあった価値につながる旨を受講者に伝え終了いたしました。今後は、理科大との連携などをおして、子ども達に豊かな科学体験の場を提供し、理数教育の充実を図ってまいりたいと考えています。

私からの報告は以上です。何かご質問等はございますか。

それでは教育部長、よろしく申し上げます。

○藤山教育部長

はい。私の方からは本市の行政改革の取組につきまして、動きがございましたので、これについて報告いたします。

本市では、人口減少に伴う税収の減少や高齢化に伴う社会保障関連経費の増加により、厳しい財政状況が見込まれ、少子高齢化のさらなる進行は、まちの活力の低下や地域コミュニティ機能の低下につながることも懸念されております。このことから、将来にわたり持続可能で、市民ニーズに対応した行政サービスを提供するために、行政改革に取り組んでいく必要があり、第二次山陽小野田市総合計画策定後の平成３１年４月に、それまでの行政改革の検証結果を踏まえつつ、新たな取組も取り入れた「第一次行政改革プラン」を策定し、これまで行政改革に取り組んでまいりました。

この度、第二次山陽小野田市総合計画中期基本計画で目指す将来の姿の実現に向けた施策を後押し、計画的に実行していくために、第一次行政改革プランの基本理念である「協創」による持続可能なサービスの提供」を引き継ぎつつ、社会情勢の変化に対応する新たな要素を取り入れた第二次行政改革プランを今年の５月までには策定することになりました。

策定に向けて先月末に、市長をリーダー、教育長、部長等で構成される行政改革推進プロジェクトの第２回目の会議が開催され、本格的な議論がスタートしました。教育委員会も他の部署と一緒に、行動計画を検討することになります。

私からの報告は以上でございます。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。これはまたこの教育委員会会議の中でも議題として取り上げられていくということですか。

○藤山教育部長

そうですね。適宜タイミングを見計らってまたこちらで挙げさせていただきます。

○長谷川教育長

はい、よろしく申し上げます。

それでは教育総務課長、よろしく申し上げます。

○浅川教育総務課長

はい。教育総務課から２点ご報告させていただきます。

１点目は共催後援の報告です。別紙共催後援一覧をご覧ください。この１か月間に教育委員会が

共催後援を承諾した行事等の一覧となりますので、ご覧いただければと思います。

2点目は教育総務課関係の事業についてご報告いたします。まず高千帆小学校の校舎建築事業については、内装・照明器具・電気接続等の調整や外構工事・渡り廊下仕上げ工事等を行っております。工期が2月22日までなので引き渡しがありましたら教育委員の皆様にもお披露目をする場を設けたいと考えております。

また、厚狭中学校法面整備工事については、昨年末工事が完了しましたので、給食配送車の通行については体育館側の通路は児童の動線と重なることから、元の法面側の通路に戻しております。

教育総務課からは以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

先ほどの高千帆小学校の教室棟の完成に伴ってお披露目をする会を行いたいと思います。今のところ3月くらいになる予定ですが、また日にちが決まりましたら委員の皆様にもご案内いたしますので、また時間があれば見ていただきたいと思います。実は私見てきましたが、これまで我慢してきて良かったね、という新しい施設ができております。

はい、それでは学校教育課長、お願いします。

○長友学校教育課課長

はい。学校教育課から報告いたします。

1月10日火曜日から3学期がスタートしました。1月10日始業式に新型コロナウイルス感染症の罹患報告のあった児童生徒の数は、小学校が65人、中学校24人、計89人でした。濃厚接触者を含め欠席者が多かったのですが、学校を閉じることなく無事にスタートすることができました。

まず初めに1月の新型コロナウイルス感染症の状況について報告いたします。陽性者の報告は1月の第1週は小学校47人、中学校84人の計131人。第2週は小学校81人、中学校42人の計123人。第3週は小学校33人、中学校15人の計48人。今週は25日水曜日までで小学校27人、中学校7人、計34人です。第3週目から少し落ち着きが見られてきたように思われましたが、小学校の1学級が1月24日火曜日から26日までの3日間学級閉鎖となっております。まだまだ予断を許さない状況です。中学3年生は私立高校等の受験も始まりました。学校教育課といたしましては新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザもありますので、手洗手指消毒、換気、人と人との距離をとるなどの基本的な感染症対策を引き続き徹底するよう各学校に指示しております。

3学期は学年のまとめの時期にあたります。学校ではこの一年間の学びを振り返り点検し、学んだことが着実に身につくように取り組んでおります。学力向上の取組として学校教育課では始業式が始まる前に学力向上担当者会議を開催し、市内の取組の好事例を紹介しました。ある学校では学力・学習状況調査の結果を子ども自身が分析し、学校運営協議会で自分達の課題について熟議をいたしました。子ども達は自分自身の目標を持つと共に、意欲的に取組むようになることと、教員は子ども達に合った学習プリントを提供したり指導したりという取組をしております。このように各学校の状況に則した取組が今後もそれぞれの学校でなされることと思います。

子どもの体力について、12月に「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が発表されました。この調査は小学校5年生、中学校2年生を対象とした悉皆調査となります。今回の調査では体力合計点、体力合計点とはスポーツテストで実施される種目の結果を得点化したもの

ですが、この得点が令和元年度の調査に比べて小中学校男女共に低下したことが発表されました。その要因としては運動時間の減少、学習時間以外のスクリーンタイム、スクリーンタイムとはテレビ・スマートフォン・ゲーム等の時間ですが、その時間等の増加。肥満である児童生徒の増加が要因として考えられるということが報告されました。山口県においても同様に体力の低下傾向がみられ、体力合計点が全国平均を下回ることから、一層の取組を求められています。本市においてもこうした傾向がみられることから、体力向上に向けて現在各学校で取り組んでいる一校一取組に加え、新たな取組が求められます。学校教育課といたしましては本市の状況をよく分析し、県教委と連携し、各学校の状況にあった取組を指導してまいりたいと考えております。

以上で報告を終わります。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

はい、それでは埴生幼稚園園長、よろしく申し上げます。

○桶谷埴生幼稚園園長

はい。埴生幼稚園です。よろしく申し上げます。

幼稚園の様子を4点ほどお伝えします。

1月10日より3学期が始まり、園児の賑やかな声が戻ってまいりました。冬季休業中に職員2名と園児1名がコロナ陽性、そして園児1名が濃厚接触者となりましたが、3学期始業後は感染者なく過ごしています。引き続き感染症対策、そしてインフルエンザの同時流行に留意していきたいと思っております。

次に保育参観についてです。1月16日と17日に保育参観を行いました。保護者の方の幼稚園理解を得られるように活動のねらいや活動の内容をお知らせしました。各教室を巡回すると担任の話の聞いているか、理解しているか、また友達との関わりはどうかなど、一生懸命に見ておられました。また翌日感想もノートに書かれており、保護者の熱心さも感じられました。

続いて給食残菜についてです。今月は本日まで残菜がありませんでした。冬休み明けで家庭での甘えから、残菜があるであろうと思っていましたが、栄養士の工夫を凝らした調理や自分たちが育てた野菜の収穫、食育の取組も少しずつ実を結んでいるようで嬉しく思っております。

最後に昨日からの寒波到来についての状況です。水道管破裂といった大きな被害はありませんでしたが、昨日、午前中は南側クラスの水道が出ませんでした。本日は大丈夫です。昨日の午後からはクラスの水道も出るようになりました。子ども達は水の大切さを知ると共に、登園後はすぐに雪遊びが経験できて子どもにとっては楽しい一日となったようです。

幼稚園からは以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

昨年の園の訪問の時には、子ども達が人の話をよく聞くという姿勢がよく見られました。加えて、そのために自分の発言をきちんとできる、先ほどの報告の中にもその点に触れられていたのではないかと思います。これからもどうぞよろしく申し上げます。

それでは給食センター所長、よろしく申し上げます。

○和田学校給食センター所長

はい。学校給食センターです。よろしく申し上げます。

1月10日から3学期が始まり、給食も同日から提供を開始しております。その中で1月16日

に、とんかつを提供する予定としておりましたが、学校給食センターで検食時にとんかつの加熱不足が疑われたため、児童生徒の安全を第一に考え、全校とんかつの提供中止を行いました。原因といたしましては今回使用したとんかつは今まで使用していたとんかつと異なったもので、今まで使用していたものと同じ調理温度の設定にしていたこと、とんかつの形状が不均一で厚みがある物があり、厚みのある物が加熱不足になったことが原因と考えられます。検温を入念に行っておりましたが、結果的に主食となるとんかつが提供できなく、代替となる物も提供できなかったため、児童生徒及び保護者の皆様に多大なご迷惑をおかけするかたちになってしまいました。今後は新規の商品を使用するときは商品の取扱表等で調理温度をよく確認し、特に食中毒の原因となる肉魚卵類については十分な加熱がされるよう、今まで以上に注意し作業にあたることとし、安心安全な給食提供を行ってまいります。なお、今回の対応といたしましては保護者への負担とならないよう、精算月となる3月で金額の調整をさせていただき予定としております。

その他といたしましては、来月18日に親子料理教室を予定しております。今月13日から申し込みの受付を開始しております。

学校給食センターからは以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

○竹田委員

はい。

○長谷川教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

質問ではないのですが、先ほど事前に色々とお話を伺った中で、とんかつを食べられなかったことを子ども達がとってもショックを受けていたという話を聞きました。試食の段階でそういう判断をきちんと下されたということは、これは本当にリスクは大きいですが、そのための試食でもあると思いますし、その決断に対しては私はとても正しかった、勇気があることであつたと思っています。ご心配でした。

○和田学校給食センター所長

ありがとうございました。

○長谷川教育長

ありがとうございます。地場産の食材を積極的に活用しようとしたことは評価できると思います。結果的に製品が不均一なところがあつて、火が通りにくいところがあつたということがございましたけれども、今回の原因をしっかりと精査して二度と起こらないようにすることが第一だと思いますので、どうかよろしく願いできればと思います。

○和田学校給食センター所長

はい。気を付けます。

○長谷川教育長

はい、それでは社会教育課長、お願いします。

○松林社会教育課課長

はい。それでは社会教育課からご報告いたします。

先ほど教育長からお話でしたが、1月21日土曜日に本年度最後となりました「星の教

室」を行いました。今年度9回の日程をこれで無事に終了したことになります。青年の家のプラネタリウム事業に関しましては今年度で終了ということにしておりますが、残り教育委員会主催としては2月19日日曜日と3月18日土曜日に「ありがとう投映会」を開催することとしています。残り二日間、4回の上映を残すのみとなりました。我々としましては最後までしっかりと投映を行ってまいりたいと思っております。

続きまして、「二十歳のつどい」のことをございます。新聞記事にございますが1月8日日曜日に令和5年「山陽小野田市二十歳のつどい」を開催いたしました。参加者は市内市外を含めた対象者713名のうち409名の参加があり、参加率は57.36パーセントとなりました。これは昨年に比べて少し低い参加率となりましたが、式典直前にコロナの感染状況が急拡大したことが影響しているのではないかと考えております。式典の内容については昨年同様1会場2部制とし、午前山陽側の中学校区、午後小野田側の中学校区を対象に行いました。また感染症対策についても昨年とほぼ同様に対策を行いました。式は1部2部共に落ち着いた雰囲気で行うことができたと思っております。参加された方は友人との再会を喜び、スマートフォンで写真を撮り合うなどとても楽しんでいる様子が見られました。また今回も参加できなかった方や保護者のための公式インスタグラムでのライブ配信も行っております。

続きまして新聞記事の1ページ目「本山スタディールームで昼食提供」という記事がございます。子ども達に安心・安全な自主学習の場を提供するため、夏休みに続いて冬休みの間も全ての地域交流センターでスタディールームが開催されました。新聞記事にある本山地域交流センターでは実績として延べ180人の子ども達が参加し、7人の理科大生が勉強を教えるボランティアとして参加してくれました。子ども達にとっては地元の大学生から勉強を教えてもらえる良い機会となりましたし、また大学生にとっても良い社会勉強になったという声を聴かせていただいております。また今回は、本山では「キッチン本山」と銘打って本山地区自治会協議会が食材費を提供し、校区ふるさとづくり協議会のボランティア団体、ひまわりの会さんが調理を担い、子ども達や大学生に温かい食事が提供されました。子ども達や大学生の参加に加えて、地域の大人たちが応援することで新たな来館者の獲得と、また多世代の交流や繋がり作りにもなっており、本山地域交流センターの賑わいが増えているように感じております。

最後にきらら交流館での新春イベントの記事です。1月3日にきらら交流館で新春イベントとして餅つきが行われました。ここでついた餅は来館者に振る舞われ、大変な盛り上がりとなりました。この行事は毎年小さな子どもから高齢者までが楽しめる地域の恒例行事となっております。なおきらら交流館はリニューアル工事のために2月末をもって長期休館に入る予定となっております。

以上で社会教育課からの報告を終わります。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。よろしいですか。

それでは図書館長、よろしく申し上げます。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館

はい、図書館からご報告申し上げます。

資料の1枚目をご覧くださいと思います。1月14日「サビエル高校留学生ギャラリートーク」を開催いたしました。6名の留学生が「私の国のお正月」ということで自国のことを話していただきましたけれども、そのことについては新聞記事になっておりますのでご覧くださいと思います。資料展示につきましては、12月2日から12月28日までの間「小野田中学校生徒による

おすすめの本」の展示を行いました。2ページ目です。2月1日「ぬいぐるみのとしょかんおとまり会」を開催いたします。2月12日、2回目となりますが「図書館でオープンマイク！」を開催いたします。資料展示につきましては1月24日から2月26日まで「小野田高生によるおすすめ本」の展示を行うことにしております。厚狭図書館につきましては3ページ目ですが、行事予定の中で1月28日「古本市」を開催する予定にしておりましたが、天候が荒れるということが予測されますので、中止とさせていただきます。この中止の分については3月に行う図書館祭りの中で古本市をしていこうということにしております。

3ページ目、来館者数と貸出点数の推移、四半期ごとにこの数字をお示ししておりますが、第3期10月から12月の全市の数字をご覧くださいと思います。この時期は感染者の急拡大の時期と重なっております、来館者数と貸出点数共に1、2パーセント減となっております。

最後に、現在山陽小野田市の子ども読書活動推進計画第四次計画について案を策定するというところで動いておりますが、パブリックコメントを2月1日から求めるということにしております。このことについては市の広報あるいは市のホームページの方でご案内する予定です。

図書館からは以上でございます。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等がございますか。

それでは歴史民俗資料館長、よろしく願います。

○若山歴史民俗資料館長

はい。歴史民俗資料館よりご報告いたします。

資料の方をご覧ください。企画展「窯のまち」では年末まで小野田中学校1年生のふるさと学習の展示を行っていましたが、1月からは高千帆小学校4年生がまとめたふるさと学習の成果を展示しております。親子での見学もありました。また、アンケートによりまして「分かりやすく歴史を知ることができて面白かった」「次回以降の企画展にも来たい」「新しい発見があって、今後街を見ていく目が変わった」などの感想をいただいております。そして28日土曜日には最後のギャラリートークを開催いたします。

次にお配りしておりますチラシをご覧ください。次回の企画展は「大田家文書―山野井村長府藩領庄屋家の記録―」です。大田家は山野井村の庄屋で、酒造業にも携わっていた家です。令和2年度に大田家文書の寄託を受け、少しずつ解読を進めているところです。その成果の一部を紹介する企画展となります。ギャラリートークや関連講演会も開催予定です。

資料館からは以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等がございますか。

この大田家文書の膨大な資料の中で興味深いものはありましたか。

○若山歴史民俗資料館長

まだ解読途中で・・・何が出てくるか分からないところです。

○長谷川教育長

はい、分かりました。お楽しみということですね。

○若山歴史民俗資料館長

はい。

○長谷川教育長

それでは次にまいります。小学校長会長、よろしくお願いいたします。

○下瀬小学校長会会長

はい。小学校長会から3点ご報告いたします。

1点目は雪についてです。12月の積雪、昨日の雪で児童は運動場で楽しそうに雪遊びや雪だるま作りをしていました。雪遊びの体験の少ない児童が多く、珍しさそして嬉しさいっぱい楽しそうにしていました。積雪や低温からの危機管理ですが、屋外の水道管は24日夕方ごろからすでに凍っており、昨日は水道・トイレ共に屋外は凍結しており、ようやく夕方に回復しております。幸い別の校舎のトイレや水道を使う、あるいはその前の日に少し水を流しておくなどをしていましたので、大きなトラブルはありませんでした。また道路が凍結したり積雪したりと、児童の登下校の安全管理は気を遣います。各小学校では登下校の変更を行わず、通常どおりの登校をさせました。また、教職員の通勤・退勤での自動車の運転も気になるところで、タイヤの履き替え、同乗での通勤、公共交通機関や徒歩での通勤を促しております。

2点目は3学期の開始についてです。学年最後の締めくくりの学期、3学期がスタートし、52日間の生活が始まりました。特に6年生は48日間と短く、1日1日が貴重な時間となっております。卒業アルバム・文集・記念品の作成など様々な思い出作りがあります。各学校で特有の行事や作品作りがありますが、本校では来月2月に6年生はお薬教室を、それからガラス体験学習を行い、卒業記念の品を作成します。このような理科大・ガラス館との連携授業も思い出に残るものとなって欲しいと思っております。

3点目は学校での学習活動についてです。各学年とも国語の学習では毛筆を、習字を書いております。図工の学習では紙版画・色版画・木工版画を、そして理科の学習では今実験真っ盛りで、体積の膨張実験や物の溶け方、てこ、天秤、手回し発電機、電磁石など色々な実験を行って、理数教育の充実に努めております。また、音楽の学習では鍵盤ハーモニカ、リコーダー演奏、打楽器を混ぜた合奏も行うようになりました。1月当初はコロナ感染症のため、濃厚接触者や陽性者も多く出席停止児童がたくさんいましたが、ここ一週間は感染者が少なくなり本来の学校での活動を行っております。このような形で2月の参観日、二分の一人式や3月の卒業式を迎えたいと考えております。

以上、小学校長会の報告でした。

○長谷川教育長

はい、ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

それでは中学校長会、よろしくお願いいたします。

○山本中学校長会会長

はい。年末年始、新型コロナウイルス感染症の第8波の流行のため、始業式に全生徒が揃うことが叶いませんでしたが、生徒達は新春やる気に満ちた晴れやかな顔で挨拶を交わして登校しています。また本校の始業式は放送による実施となりましたが、各校で学年の代表が意欲に満ちた新年の抱負を立派に語り、新学期をスタートしております。

中学校の状況について2点ご報告いたします。

1点目は3年生の受験状況です。新型コロナウイルス感染拡大でどの学校も緊張した状態で受験を迎えております。今週24日火曜日までに近隣の多くの私立高等学校の一般入試・宇部高等専門学校の推薦入試の受験を終えましたが、25日水曜日に予定されておりました山口県鴻城高等学校の入試は強い寒波の到来のため、30日月曜日に延期されました。またこの間、本校ではコロナウイル

ス感染のため1名の生徒が私立高等学校の受験ができず、追試験を受けることとなっています。その他の生徒は問題なく無事に終えたところでございます。今後は2月7日火曜日の公立高等学校の推薦入試、9日木曜日から始まる公立高等学校の志願登録、20日月曜日から24日金曜日午前10時までの間に公立の第一次募集の出願を行います。最終日の24日金曜日には実質の志願倍率が報道発表されることとなっております。3年生にはあれこれと余計な神経は使わずに、今の自分の取組を信じて、自分のペースで着実さを大切にしよう指導しているところです。

2点目は例年開催している2年生の立志式についてです。3年生の進路の決定のこの時期に、2年生では最高学年への進級に向けて、一人ひとりが志、目標を立てて発表しています。毎年各校それぞれが、進路指導やキャリア教育の一環で特色ある取組を企画して開催しています。2年生に新たな希望や決意を抱かせ、一層意欲的な学校生活を送れるよう達成感のある式にすべく準備を進めているところです。本校では例年2月上旬に開催しておりましたが、今年は3月2日木曜日に予定しており、市教委から紹介のありました内閣府の事業「理工チャレンジ（リコチャレ）」に応募して科学技術振興機構の副理事、東芝総合研究所研究員として半導体の研究開発を担当されている、理学博士でもある渡辺美代子さんを講師に、「立志式を迎えた君たちに」という仮の演題で、記念講演を予定しています。今年は本校も式には保護者の参観を予定しています。各校保護者と共に生徒たちの夢や希望を温かく受け止め、実現に向けて前向きに取り組んでいくよう励まし、支援していきたいと考えております。

以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

○末永委員

はい。

○長谷川教育長

はい、末永委員。

○末永委員

はい。先ほど小学校校長会の方からご報告いただいたのですが、昨日の寒波等で小学校からも中学校からも事前に前日から注意喚起のご連絡を保護者にメールでいただきまして、ありがとうございました。子ども達も保護者も登校時間がずれるかなとか、下校時間が変わるかなとかすごく注意深くその日を過ごすことができましたので、良かったなと思っております。丁寧にメールで連絡くださいまして、ありがとうございます。やっぱり学校に行けて、雪遊びができてとっても楽しかったと、中学生からも聞いたりしました。登校の風景を見ていると小学生はもちろん集団登校で並んできちんと行っていました、やっぱり雪がすごく嬉しそうで、中学生も嬉しそうにわざと滑りながら行っているのを見たので、あまり雪が積もらない地域ですので、すごくいい経験になったなと保護者としては思いました。1点心配だったのですが、中学生で自転車通学の子がいると思いますが、怪我とか事故とかなかったですか。どういうふうに指導されたのかな、と思ひまして。

○山本中学校長会会長

積雪状況によって登校時間をずらして、事前に学校の方に連絡して遅らせて来る生徒もいました。遠距離ですので自転車で登校したり路面が凍結して危ないので、そういう連絡が入っていたのですが、実は遅らせてくる途中で転んでけがをした、と。現場にすぐ私が駆け付けたんですが、すでに雪が解けていて。登下校十分気を付けて行くよう、引き続き指導していきたいと思ひます。

○末永委員

はい、ありがとうございます。中学校は遠くから自転車で来ている子達がいるので、その登校の時間等も融通を利かせていただいたみたいで、ありがとうございます。

当日小学生も中学生もみんな、喜んで帰ってきておりました。ありがとうございました。

○長谷川教育長

私も高千帆中学校の登校時間帯が一緒になりますが、日頃自転車で行っている子でも、歩いてきている子もいましたね。だからそれぞれが判断して、安全に登校していたなという印象を持ちました。よく指導していただいてありがとうございます。高千帆小・中学校、それぞれの対応が違うと保護者は、不安に感じると思いますが。

○末永委員

いいえ、不安はなかったです。

○長谷川教育長

大丈夫ですか。

○末永委員

はい。

○長谷川教育長

ではちゃんと連携が取れている、ということですね。

○末永委員

話し合われているのかな、と思われるくらいメールのタイミングが合っていたり。逆に素晴らしいなと思うくらいです。

○山本中学校長会会長

はい、連絡取り合っております。

○長谷川教育長

ありがとうございます。連絡を取りながらしていると聞いて、安心しました。ご苦労様でした。先生方にも大変でしょうが、安全に出勤されるようご指導いただけたらと思います。よろしいですか。

次回の会議日程

○長谷川教育長

それでは次回会議日程について、教育総務課長よろしく申し上げます。

○浅川教育総務課長

はい。2月の定例会の日時と場所をお決めいただきたいと思います。事務局からは2月16日木曜日午後3時から、市役所で行う案でお諮りします。場所は後日お知らせしたいと思います。

○長谷川教育長

この日は総合教育会議が入る予定ですね。

○浅川教育総務課長

はい。その予定です。

○長谷川教育長

ですからこの時間帯になろうかと思えます。

あと、臨時会がこれから入ると思えますので、よろしく願います。

それでは前半を終了します。お疲れ様でした。

14時42分休憩

14時43分再開

報告第1号 令和4年第2回社会教育委員会議の結果について

○長谷川教育長

それでは議事に入ります。

報告第1号「令和4年度第2回社会教育委員会議の結果について」、事務局説明をお願いいたします。社会教育課長。

○松林社会教育課課長

はい。それでは報告第1号「令和4年度第2回社会教育委員会議の結果について」ご報告いたします。令和4年11月30日に第2回社会教育委員会議を開催いたしました。出席委員は10名、欠席は4名でした。内容につきましては、7月から9月末にかけて実施しました地域交流センターのアンケート調査の報告を行いました。委員からは、各センターは自分の地域のデータが欲しいので、それを各校区に知らせたいという要望がございましたので、その後作成し各センターに提供しております。

次に10月27日、28日に開催された第64回全国社会教育研究大会広島大会につきまして、参加した委員長及び職員から報告を行いました。

次に昨年9月に中央教育審議会から報告がありました、第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理につきまして、国の動向を含め説明を行いました。

続いて議題としまして、これらの報告ののち地域交流センターにおける「人材発掘を企図した地域交流センター主催事業の具体について」というテーマにおいて3人から4人の少人数によるグループワークを実施いたしました。それぞれのグループから出た意見として、「センターに来るきっかけ作りとして、若い世代が放課後や土日に集える場を設置し、誰でも気軽に来ることができる雰囲気づくりを行う必要がある。」というご意見がありました。続いて、「地区の人がどのようなことに興味を持っているのか、来所者だけでなく様々な世代へアンケートを実施し、そこから講座を作り多くの団体とのつながりを持っていくことが必要」というご意見もいただきました。また「公民館祭りのような校区の大きなイベントを継続的に開催すれば、地域にたくさんのグループが一堂に会することができ、新たな交流やつながり作りができる」等のご意見をいただきました。いただきましたご意見はセンター長会議などで共有し、今後のセンター事業に反映してまいりたいと考えております。

簡単ですが、以上で報告を終わります。

○長谷川教育長

はい。ただ今の件に関しまして、ご意見ご質問等ございましたら願います。

それでは採決いたします。報告第1号「令和4年度第2回社会教育委員会議の結果について」原案どおり決することにご異議はございませんでしょうか。承認いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

はい。全員承認と認めます。報告第1号は賛成多数により承認されました

その他

県費負担教職員人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事異動について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

その他

○長谷川教育長

次に(3)その他ですが、何かございますか。

閉 会

○長谷川教育長

それではこれで本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆さん、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

14時50分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和5年 1月 26日

教 育 長 印

署 名 委 員 印

署 名 委 員 印

会議録を調製した職員 印